

関弥生様没後 7年

## 特集：関 弥生さんを偲ぶ

寺田寅彦先生の次女、関弥生さんが亡くなられて7年が経ちました。平成18年6月15日94歳のご長寿を全うされました。当会誌「榎」50号では、この訃報が伝えられました。誠に残念の極みでした。

あれから7年、この節目の年に、寺田寅彦先生と寺田寅彦記念館友の会を強い絆で結んでいて下さった関弥生さんに思いを馳せることは意義あることと考え、この特集を組むことにいたしました。

その間には、東日本寺田寅彦先生の先見性が新聞紙上でよく取り扱われ、90年は関東大震災90年先生は、震災予防調査的に調査をされ、震災した。関弥生さんが御とを思いになったこと

関弥生さんは、友の持っていてくださり、かのご寄稿をいただき記念館庭には、大杯といただきました。寅彦先生もそうです。また、ごへたくさんのご寄付をこれから有効に使わせていただきます。

寺田寅彦先生との、繋がりが年と共に薄れていくことは、やむ終えないことですが、友の会は、これからも寺田寅彦先生を愛し、先生から学びつづけていきます。先生のお孫さん達とも、お付き合いが続きます事を願っております。

今回、この特集に、関弥生さんの御子息関直彦様からもご寄稿をいただきました。心よりお礼を申し上げます。会員6名からは思い出を執筆いただきました。多くの写真と共にお読みくださり、関弥生さんを偲んでいただけたらと思います。（編集担当山田）



晩年の関弥生さん

(写真提供：関直彦様)

大震災がありました。のある言葉や、思想上げられました。今の年でもあります。会委員として、献身報告書を完成されま存命ならばどんなことでしょう。

会には、強い関心を「榎」には、いくつきました。寺田寅彦記う楓の木をご寄贈く生ご使用のトランク遺族からは、友の会いただきました。こ